

第29回海陽ミッドウインターレガッタ

帆走指示書

1. 適用規則

本大会は「セーリング競技規則 2021-2024」に定義された「規則」を適用する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の8:45までに掲示される。

4. 陸上で発する信号

4-1 陸上で発する信号は大会本部前に掲揚される。

4-2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号回答旗説明文中の「1分」を「30分」と置き換える。

5. レースの日程

5-1 予定されるレース日程は次のとおり。

第1戦：2023年12月9日（土）

第2戦：2024年1月14日（日）

第3戦：2024年2月4日（日）

5-2 各日のレース数は最大3レースを計画している。

5-3 各日の最初のレースの予告信号予定時刻は、9:50とする。

6. クラス旗

ダブルハンド 海陽ヨットハーバー旗

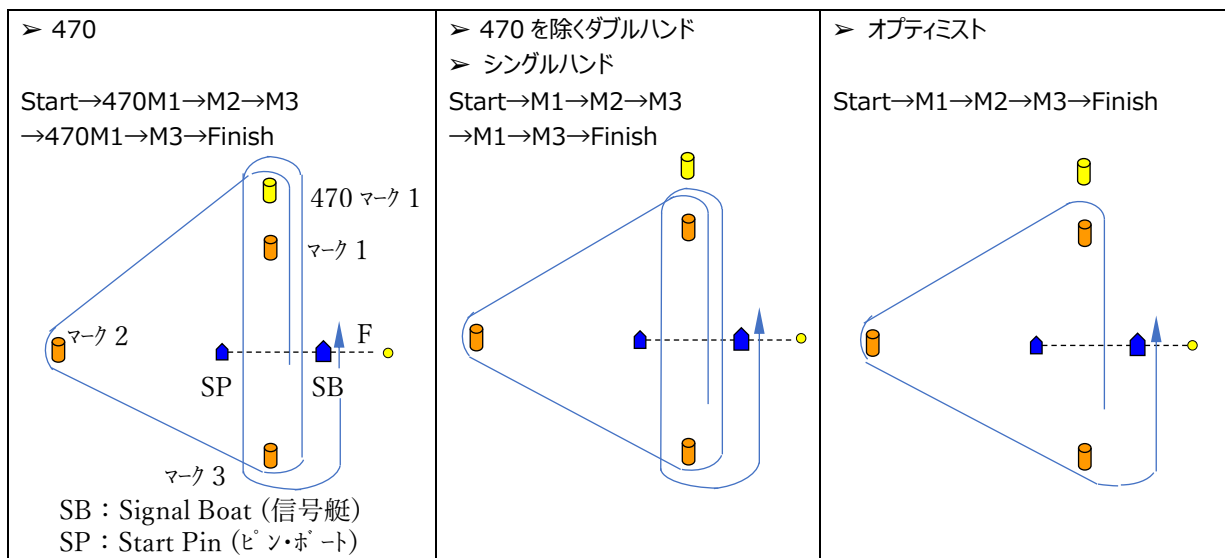
シングルハンド、オブティミスト レーザージャイアル旗

7. レースエリア

レースエリアは豊田自動織機 海陽ヨットハーバー沖とする。

8. コース

8-1 各クラスのコースは次のとおり。



8-2 コースのレグをスタート後に変更することはない。

9. マーク

9-1 マーク 1. マーク 2. マーク 3 は、オレンジ色の円筒形のブイとする。

9-2 470 マーク 1 は、黄色の円筒形のブイとする。

9-3 フィニッシュ・マークは、黄色の球形ブイとする。

10 スタート

10-1 規則レース信号「オレンジ旗」に以下を追加する。

レースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する 5 分前までに、レース委員会信号艇に音響 1 声と共にオレンジ旗を掲揚する。

10-2 スタート・ラインは、信号艇のオレンジ旗を掲揚しているポールとレース委員会艇のオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。

10-3 シングルハンドクラスと OP クラスは同時スタートとする。ダブルハンドクラスのスタート信号後、適宜発せられる。

10-4 スタート信号後 4 分より後にスタートする艇は、「スタートしなかった(DNS)」として記録される。これは規則 A5 を変更している。

11 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、信号艇の青色旗を掲揚しているポールと、スターボードの端にあるフィニッシュ・マークの間とする。

12 ペナルティ方式

規則 44.1 の 2 回転ペナルティを 1 回転ペナルティと変更して適用する。

13 タイム・リミット

13-1 タイム・リミット及びターゲット・タイムは次の通りとする。

クラス	タイム・リミット	マーク 1 のタイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
ダブルハンド	60分	25分	10分	40分
シングルハンド	60分	25分	10分	40分
OP	60分	25分	10分	40分

13-2 マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しそうな場合、レース委員会はそのレースを中止することができる。これは規則 32.1 を変更している。

13-3 ターゲット・タイムどおりにならなくても救済要求の根拠とならない。これは規則 62.1(a)を変更している。

13-4 各クラスとも、規則 30.3、30.4 に違反しないでスタートした最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、フィニッシュ・ウィンドウ以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される。これは規則 35、A5 を変更している。ただし、シングルハンドクラスについて"モスクラス"が出走した場合、"モスクラス"は最初の艇にはならない。

14 審問と救済の要求

審問要求書は、中央棟に設けられる出着艇申告所で入手でき、最終レース終了後 60 分以内に同所に提出しなければならない。

15 得点

15-1 付則 A の低得点方式を 1 位の得点を 0.1 に変更して用いる。

15-2 艇のシリーズ得点は、全てのレース得点の合計とする。

16 安全規定

16-1 競技者は出艇前に大会本部前に用意される出艇申告書に署名しなければならない。

16-2 帰着した競技者は、抗議締切時間内に大会本部前に用意される帰着申告書に署名しなければならない。

16-3 競技者は海上では常時有効な浮力を持つライフジャケットを着用しなければならない。

また、ドライスーツあるいはウエットスーツを着用すること。

16-4 リタイヤした艇は、できるだけ速やかにレース委員会に伝えなければならない。

16-5 競技者は自分自身の技量を考慮して自力で帰港できないと判断した場合、出艇してはならない。

16-6 このレースの救助体制は人命第一としている。

主催者が危険と判断した場合、強制救助する場合がある。

緊急時は、余力のある時のみ艇体を救助する。

17 表彰

1 戦ごとに優勝から 3 位までを表彰する。

18 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。

規則 3「レースをすることの決定参照」

主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。